

大阪は「まち」がほんまにおもしろい



① 此花メチア

元メリヤス工場を改装し、日本画・絵画・ダンス・メディアアート・音楽・デザイン・建築など、様々なアーティストや地元住民の共同アトリエ、ギャラリー、創作工房です。建物は5棟が連なり、増改築を繰り返す中で複雑に入り組んで結合しています。

② 白砂大神 (しらすなたいじん)

大正10年(1921)、大阪市電(西九条~千鳥橋)延線に伴う道路拡張工事の際、この場所に鎮座していた住吉神社が移転しました。当時、住吉神社の正面拝殿にあったのが白砂大神です。建物取り壊しのさいに、白砂大神右の銀杏の木(推定樹齢約200年)に手をかけたところ、次々と事故が発生。地元住民の間で神木として残すべきとの声があり、町内安全の守護神として、現在まで残されています。

③ 昇陽中学校・高等学校

大正13年(1924)、淀之水女学校として北区に創立しましたが、翌年、西島(此花区)へ移転。昭和20年(1945)の大阪大空襲で校舎が全焼し、昭和24年(1949)5月まで、現在の伝法小学校(此花区)や野田小学校(福島区野田)の校舎を借用して授業を継続していました。その後、現在の場所へ移転となりました。

④ 梅香堂 (ばいかどう)

平成21年(2009)、廃倉庫を改装し、上下2フロアのギャラリースペースと事務所等を備えたオルタナティブスペースです。現代アートを中心に、展覧会、イベントなどを開催しています。

⑤ 朝日橋

文久3年(1863)、備前藩によって六軒家川に架橋されました。当時は木橋で、現在の橋は昭和31年(1956)に架け替えられた橋です。永久橋化(鉄筋コンクリート、石材、鋼材などでつくられた耐用年数が恒久的な橋)され、大阪市電廃線までは、併用軌道橋(電車と自動車と同じ橋の上を走る橋)でしたが、廃線後は、自動車・自転車通行用となりました。

⑥ 六軒家川堤防壁画【人型壁画】

「このはなアートプロジェクト」の一環として平成21年(2009)に昇陽中学校の1期生が製作。校庭の桜の葉をモチーフにした陶板を作り、学校の窯で焼き上げ、それらを生徒一人一人の人型になるように貼り付けました。

「このはな」の由来をたずねて ~アートと音楽発信のまちを歩きながら~

このはなアートプロジェクト

平成19(2007)年度から、此花区の独自企画事業として展開しています。「花」「エコ」「つながり」をテーマに、区内に8カ所10点の壁画を制作。壁画の材料は「陶器の廃材」や「陶板」で、着色や製作工程には、地域住民や此花区に通う生徒・児童の協力を得て、完成させました。まちをアートで彩り、まちと人、人と自然をつなぐまちづくりを進めています。



⑦ 大日本塗料株式会社(DNT)本社

島津源蔵氏の長男・梅治郎が、昭和4年(1929)に鉛粉塗料株式会社を設立。昭和11年(1936)、現社名へ変更。「ズボイド」と呼ばれる鉛粉錆止塗料を開発し、日本海軍の新造艦全てに採用される実績を挙げました。昭和20年(1945)6月の大阪大空襲で本社機能および工場が全焼。戦後、設備復興と合成樹脂塗料等の新製品開発・販売を進め、現在では、日本国内第3位の総合塗料メーカーに成長しています。

⑧ 西九条公園

大正8年(1919)開園。此花区内で最初に設置された公園です。大阪市内でも有数の梅の名所で、10数種、100本を超える梅の木が植えられ、地元の人々に愛されています。

「このはな」の由来

大正14年(1925)、北区と西区から分かれて新区が創設される際、色々な案が出ましたが、市会で議論百出の結果、王仁博士が詠んだと伝えられる古歌「難波津に咲くやこの花冬ごもり今をはるべと咲くやこの花」から引用され、名づけられました。

梅香と朝日は、かつては四貫島村と呼ばれていましたが、大正14年(1925)に19の町に分割されました。梅香は四貫島の所有者・正岡徳兵衛(政岡家)の4代目の先代養母(一説には妻)の法名が地名の由来と言われています。朝日は嬉ヶ崎と呼ばれていましたが、昭和51年(1976)に現在の町名となり、これは六軒家川にかかる朝日橋が由来です。現在はアートや音楽の力を借りた芸術発信のまちへと、生まれ変わりつつあります。

⑪ ライブカフェ マーシー・オーガモン

ウッドベース演奏者のマスターが「気軽にジャズライブを楽しんでもらおう」と平成18年(2006)5月オープン。月10回程度開催されるジャズライブでは、地元のジャズ好きが集まり、ジャズの生演奏を楽しみ、ジャズファンの交流場所となっています。

春にはたくさんの梅が咲き乱れる公園一面を桃色に染めこくわす。

グーテ・ド・アナートル



⑩

マーシー・オーガモン

アーティストたちの生演奏が聴ける Jazz cafe & Bar



火伏地蔵尊



⑩ グーテ・ド・アナートル

平成14年(2002)3月にオープンしたケーキ店。お店の名前は仏語で「アナートルのおやつ」を意味します。食品添加物はほとんど使わず、ケーキ類、クッキーとも新鮮さにこだわりの、その日に作ったものしか店頭には並べません。数多くのメディアにも取り上げられている名店です。

⑫ 火伏地蔵尊

西九条には12尊の地蔵尊があり、毎年8月23日前後に地蔵盆が開催されます。火伏地蔵尊は、西九条にある地蔵尊のなかで、一番大きい地蔵尊です。縁起によると、延宝年間(1673~1681)に施工された河川改修工事の際、芦分(現在の野田・鷺洲あたり)から出土したそうです。その後の開発により、地蔵尊の位置が数回移転。現在の御堂は、昭和43年(1968)に建てられ、以来、ここで安置されています。

【注意事項】この地図は「大阪あそ歩」のまち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。

【お問い合わせ】大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局 電話06-6282-5930 (財団法人大阪観光コンベンション協会内) 「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。http://www.osaka-asobo.jp または「大阪あそ歩」でネット検索を。

大阪あそ歩のコースは約2~3km、2~3時間程度を基準として作成されています。